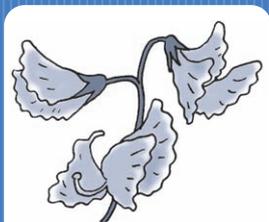


ばんげい 教育ほつとにゅーす かわら版

こ みち

教育の小径

2010年
3月号
No.17今月の花／スイートピー
花ことば／門出・思い出

今月の歳時記

啓蟄

二十四節気の一つで、太陽暦の3月6日ごろに当たります。「啓」には開く、「蟄」には土の中で巣ごもりしている虫という意味があります。冬の間地中で冬ごもりをしていた虫が、春の訪れを感じ、暖かさに誘われて地上にはい出ることをいいます。このころ、地域によってはふきのとうの花が咲き始めます。

北 俊夫先生
国士館大学教授

今月のテーマ 先輩教師に学ぼう

- 特に都市部の学校では、経験の浅い若い教師が急増しています。一日も早く優れた指導力を身につけるために、先輩の教師から学ぶ場や機会をつくりましょう。
- 先輩教師からは校内研修会などフォーマルな場だけでなく、職員室での教育談義などインフォーマルな場からも多くを学ぶことができます。

先輩教師は指導の知恵袋

授業の進め方や子どもの育て方、学級の集団づくりについて、それぞれの理念や考え方を理解していても、そのとおりに指導できない場面が多々あります。学習指導案どおりにいかないことは日常茶飯です。それは、教師の仕事には生きた人間を相手にした、職人芸的なところがあるからでしょう。

ものづくりに励んでいる職人の方々は、見て、聞いて、盗んで学ぶといいます。何よりも経験や体験を重視します。経験を積んで身につけた技術や直観や知恵などは体が覚えています。経験から生み出された一つ一つの言葉に



は含蓄があります。教師の仕事にもこれと似たところがあります。その意味で、先輩のベテラン教師から指導を受けることはきわめて重要な研修です。

多くの先輩教師は、これまでの実践から、授業のノウハウはもとより、学級経営の進め方、子どもの扱い方、学級事務の効率的な行い方、保護者との対応の仕方など、教師として求められる能力や技術を習得しています。先輩の教師は子どもを指導する際の知恵袋を持っています。それらの多くは、先輩の教師から学んだもので、教育の文化遺産ともいべきものです。

特に若い教師が優れた実践力を身につけると、先輩教師に学ばない手はありません。ところが、経験を積んできた教師は「最近の若い教師は困ったことがあっても聞きに来ない」といいます。一方、若い教師の多くは「先輩の先生は何も教えてくれない」といいます。両者に意識のみぞがなくては、教育の文化遺産は伝達されません。

気軽な教育談義こそ必要

校内の先輩教師から指導を受ける機会は、フォーマルな場とインフォーマルな場があります。前者は、校内研修

(研究会)や職員会議、学年会など、計画された場です。協議をとおして学ぶことができます。先輩教師と若い教師の間で教える・教えられる関係が積極的につくられるとよいでしょう。

一方、インフォーマルな場とは、休み時間や放課後などに職員室などで交わされる会話です。放課後に先輩教師の教室に行って、掲示物を見たり雑談したりすることもよいでしょう。子どものことや教材のこと、指導上の悩みなど気軽に語り合える人間関係と雰囲気づくりが何より大切です。

かつて職員室では、教育について談義する風景が日常的に見られました。自然なかたちで、教えられる(学ぶ)ことが多くあったように思われます。話の内容は、その学校の子どものに密着していましたから、教室ですぐに生かすことができました。「あの子はその後どうなった?」などと、指導の結果は次の教育談義の話題になっていました。

いま子どもたちの人間関係の希薄さが課題になっていますが、教師の間にも何でも言い合える人間関係を構築することが求められます。このことは、教育の優れた文化遺産を継承し、特に若い教師を育てるうえで重要になってきています。日ごろの職員室での気軽な教育談義こそ、優れた教育技術の学びと伝達の間だと考えます。

学校教育において、子どもの安全に対する配慮が必要な場は多様にあります。理科の時間における実験・観察の場も、その一つです。

理科の時間には、金属や水などの体積の変化を調べるために、アルコールランプやガスバーナーなどの火を使った実験が行われます。水溶液の性質や働きを調べる際には、塩酸など危険な薬品が使われます。酸素や水素を発生させる実験も行われます。

これらの実験に当たっては、事故が起こらないよう事前に、薬品や器具の正しい扱い方、処理の仕方、実験の手順などについて丁寧に指導します。授業に先立って、教師が実技研修を受け、予備実験をします。実験の場では、子どもたちの心が動揺することがあります。落ちついた教室環境をつくることも教師の役割です。

万一、事故が発生したとき、どのように対処するか。事故発生時のマニュアルを学校として作成し、理科室に掲示しておきます。



授業の様子を記録するには、その場で用紙に記録する。カセット・テープ・レコーダーで音声を録音する。ビデオに録画するなどさまざまな方法があります。授業の進行と同時に記録することには限界があります。子どもたちの発言が多くなると、逐語記録することは不可能です。そのため、録音や録画する方法がとられています。

ここで大切なことは、どう記録するかではなく、それをどう活用するかということです。校内の授業研修会で、授業の記録が配布されることがあります。ところが、研修会の場でそれが有効に活用されていないという実態が見られます。これでは、記録をとった先生の苦勞が無になるだけでなく、とてももったいないこ

とです。

授業について検討するとき、授業の事実にもとづけることが大切です。授業記録の分析をとおして、子どもたちの理解や思考の状況が確認できます。そこから、授業をよりよくする方策が見えてきます。授業の記録は、授業力を高めるよき教材であるといえます。



教育キーワード 国旗・国歌

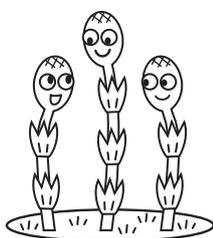
国旗及び国歌に関する法律が施行したのは、平成11年8月です。本法律は二条からなり、「国旗は、日章旗とする」と、「国歌は、君が代とする」ことが定められています。

国旗や国歌は社会科や特別活動で取り上げられ、国歌「君が代」は音楽科の時間に指導されます。本法律の趣旨を踏まえて指導することが求められます。

わが国の国旗と国歌の意義については、『小学校学習指導要領解説 社会編』で次のように解説されています。

- ①国旗と国歌はいずれの国ももっていること。
- ②国旗と国歌はいずれの国でもその国の象徴として大切にされており、互いに尊重し合うことが必要であること。
- ③わが国の国旗と国歌は、(中略)法律によって定められていること。

学級通信に使える今月のイラスト



つくし



流しびな

編集後記

社会人になりたてのころに諸先輩方から受けた厳しくも愛情ある叱責の数々は、自分にとっての大きな糧でした。自分はいま諸先輩方のように後輩に接しているか、もう一度考えてみようと思います。(H記)

Information (PR)

平成22年度 ぶんげいテスト



Nテスト
新発行



基礎・基本 + 活用力